



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 エコートレーディング株式会社
 コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 一彦
 (氏名) 堀 和仁

TEL 0798-41-8317

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	57,092	0.5	△239	—	△221	—	△169	—
27年2月期第3四半期	56,800	0.1	△72	—	△55	—	△68	—

(注)包括利益 28年2月期第3四半期 △116百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 △33百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△28.09	—
27年2月期第3四半期	△11.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	27,559	—	8,466	—	30.7	—
27年2月期	26,043	—	8,703	—	33.4	—

(参考)自己資本 28年2月期第3四半期 8,466百万円 27年2月期 8,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年2月期	—	10.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,600	1.2	△136	—	△115	—	293	215.1	48.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 当社の連結子会社であった株式会社マーク産業は、平成27年9月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しておりますが、開示府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期3Q	6,036,546 株	27年2月期	6,036,546 株
28年2月期3Q	644 株	27年2月期	644 株
28年2月期3Q	6,035,902 株	27年2月期3Q	6,035,902 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

経済状況・市況環境等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和の効果により、雇用や所得環境の改善が続くなど景気は回復基調にあります。しかしながら、円安に伴う物価の上昇や、新興国において景気後退が懸念されることにより、個人消費を取り巻く環境及び消費全般の基調は引き続き楽観視できず、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

ペット業界におきましては、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは当社の創業50周年に当たる2020年に向けて『I²☆50 お客様満足度NO. 1一スピード・成長・拡大』を基本方針とした新中長期経営計画を策定し行動してまいります。また、平成26年に引き続き、平成27年6月29日から30日にかけて『ニューマーケット創造提案会』を国分株式会社と共同開催いたしました。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、ペットの専門性を高め、商品の安定供給から売場作りの企画提案までのトータルサポートを行ない、顧客満足度を高めてまいりました。また、物流面では引き続き業務の効率化を進めております。

一方、ベッツバリュー株式会社では、店舗開発事業の管理店舗数が208店舗になり、また、商品開発事業では高付加価値商品の開発及び販売を推進いたしました。

また、株式会社ケイ・スタッフでは、得意先の売り場活性化に繋がる営業企画提案を引き続き実施しており、卸売事業の販売促進を支援することによる売上拡大を図ってまいりました。

また、ココロ株式会社につきましては、インターネット通販事業の拡大を推進してまいりましたが、平成27年11月12日開催の取締役会において、ココロ株式会社の全株式を株式会社爽快ドラッグへ譲渡すること及び同社と業務提携を行うことを決議いたしました。これは、当社の経営資源を卸売事業に集中させるためのものであり、今後は、ココロ株式会社の事業経験を活かして、当社の得意先様にインターネット通販に係る品質の高いサービスを提供してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、570億9千2百万円（前年同期比0.5%増）となりました。しかしながら、低価格志向の影響によるペットフード及びペット用品類の販売価格の下落の進行や、物流コストの上昇があり、営業損失は2億3千9百万円（前年同期は営業損失7千2百万円）となりました。

経常損失は2億2千1百万円（前年同期は経常損失5千5百万円）となり、また、四半期純損失は1億6千9百万円（前年同期は四半期純損失6千8百万円）となりました。

当社は、得意先様に商品を安定供給するために品揃えを強化してきた結果、在庫が適正水準を超えるようになり、倉庫内の作業環境の悪化に伴う物流作業費や保管費の上昇を招くようになりました。そこで当社は、物流効率の抜本的な改善を目的として、当第3四半期連結累計期間において、商品供給の品質を維持しながら在庫削減に注力してまいりました。さらに、当第3四半期連結会計期間において、社内に在庫削減プロジェクトチームを結成し、在庫削減を金額面のみならず、商品アイテム面においても徹底して行い、物流効率の向上に取り組んでおります。その結果、当第3四半期連結会計期間末の商品在庫は、前年同期と比較して997百万円減少しております。

また、この在庫削減活動に伴い、仕入高が前年同期に比べ一時的に減少したことにより仕入割戻が減少したこと、及び長期滞留在庫の整理を進めたことが、売上総利益の減少の主な要因であります。

当社は、これらの在庫削減を当連結会計年度末までに完了するよう推進し、翌連結会計年度における売上総利益の拡大と物流コストをはじめとする販売費及び一般管理費の削減の基礎とする所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億1千6百万円増加し、275億5千9百万円となりました。これは、主に商品が3億3千6百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が18億4千1百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ17億5千3百万円増加し、190億9千2百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が11億1千3百万円、未払金が2億7百万円、「固定負債」の「その他」が1億8千3百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が増加した34億円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億3千7百万円減少し、84億6千6百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が5千3百万円増加したものの、利益剰余金が2億9千万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、平成28年1月8日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 当社の連結子会社であった株式会社マーク産業は、平成27年9月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しておりますが、開示府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税等の税率変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税等の税率が変更されることになりました。

これに伴い、平成28年3月1日以降に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異についての繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、変更されます。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

(重要な子会社等の株式の売却)

当社は、平成27年11月12日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるココロ株式会社の全株式を株式会社爽快ドラッグへ譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式譲渡の理由

当社は、ペットフード・用品のインターネット通販子会社であるココロ株式会社と共に事業展開をしてきましたが、この度、今後の当社の経営戦略を検討いたしました結果、保有するココロ株式会社の株式すべてを譲渡することとしました。

2. 譲渡する相手会社の名称

株式会社爽快ドラッグ

3. 譲渡の時期

平成28年1月15日(予定)

4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

- | | |
|--------------|--|
| (1) 名称 | ココロ株式会社 |
| (2) 事業内容 | ペットフード・用品関係のインターネット通販事業 |
| (3) 当社との取引内容 | 当社は、当該子会社との間で営業上の取引関係があり、当該子会社に資金の貸付及び建物の賃貸を行っております。 |

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡後の持分比率

- | | |
|--------------|------------|
| (1) 譲渡株式数 | 5,600株 |
| (2) 譲渡価額 | 500百万円(予定) |
| (3) 譲渡後の持分比率 | —% |

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,465,017	3,496,809
受取手形及び売掛金	13,869,175	15,710,303
商品	4,035,902	3,699,649
貯蔵品	15,831	15,487
未収入金	1,814,947	1,738,236
その他	186,253	366,685
貸倒引当金	△405	△405
流動資産合計	23,386,721	25,026,767
固定資産		
有形固定資産	1,341,394	1,318,249
無形固定資産		
のれん	237,179	205,810
その他	159,084	132,455
無形固定資産合計	396,263	338,266
投資その他の資産	919,117	876,248
固定資産合計	2,656,776	2,532,764
資産合計	26,043,497	27,559,531
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,567,639	10,454,233
短期借入金	2,400,000	5,800,000
未払金	2,361,633	2,154,607
未払法人税等	35,673	15,323
賞与引当金	40,397	76,734
その他	415,180	255,742
流動負債合計	16,820,524	18,756,641
固定負債		
その他	519,100	336,021
固定負債合計	519,100	336,021
負債合計	17,339,624	19,092,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,931,285	1,931,285
利益剰余金	4,711,162	4,420,917
自己株式	△590	△590
株主資本合計	8,629,956	8,339,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,361	116,821
為替換算調整勘定	10,554	10,336
その他の包括利益累計額合計	73,916	127,157
純資産合計	8,703,872	8,466,868
負債純資産合計	26,043,497	27,559,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	56,800,068	57,092,179
売上原価	49,701,003	50,107,707
売上総利益	7,099,064	6,984,472
販売費及び一般管理費	7,171,912	7,223,935
営業損失(△)	△72,847	△239,462
営業外収益		
受取利息	4,388	3,920
受取配当金	7,190	6,809
業務受託料	16,269	14,868
その他	40,021	35,001
営業外収益合計	67,869	60,599
営業外費用		
支払利息	23,873	22,732
持分法による投資損失	14,764	7,021
その他	12,135	12,455
営業外費用合計	50,773	42,210
経常損失(△)	△55,751	△221,073
特別利益		
投資有価証券売却益	13,970	4,005
その他	4,905	—
特別利益合計	18,875	4,005
特別損失		
固定資産除却損	8,204	2,452
特別損失合計	8,204	2,452
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,080	△219,520
法人税、住民税及び事業税	39,609	43,801
法人税等調整額	△16,608	△93,794
法人税等合計	23,001	△49,993
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,082	△169,527
四半期純損失(△)	△68,082	△169,527

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,082	△169,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,468	53,459
持分法適用会社に対する持分相当額	1,284	△217
その他の包括利益合計	34,752	53,241
四半期包括利益	△33,329	△116,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,329	△116,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。